

7月定例記者会見録概要

2021（令和3）年7月5日（月）午後2時～
市役所本庁舎4階 庁議室

1. 市長からの発表

皆さん、こんにちは。6月25日に令和2年国勢調査の人口速報値が発表されました。伊賀市の人口は、昨年9月の「月別人口調査」と比べて、想定されていた人口より約3千人も多く、88,863人でした。これまでの「まち・ひと・しごと創生」の取り組みの成果かと思っております。引き続き持続可能な伊賀市づくりに向けて、「こども、暮らし、にぎわい。」の三本柱を中心に施策を進めていきたいと思っております。

また、三重県において6月21日から「三重県リバウンド阻止重点期間」として、リバウンド阻止に取り組んでいましたが、感染状況を示す指標について改善がみられたことから、6月30日に解除されました。

しかし、感染拡大の恐れが決して減ったわけではなく、それぞれが行うべき感染防止対策はこれまでと変わりません。一人ひとりが、マスクの着用、人との距離の確保、手洗い、手指消毒、部屋の換気などを改めてしっかりと徹底いただくことが、感染者数を増加させないことへとつながります。最近、デルタ株と呼ばれるインド由来の変異型ウイルスによる感染が増えてきています。特に、若い人への感染力が強いという特徴があり、家庭内感染が広がる恐れがあります。

また、これまで密閉・密集・密接が重なる3密を避けるということが言われてきましたが、1つの密、2つの密でも感染する恐れがあるとされています。私たちは、まだまだ気をつけなければいけない状況です。伊賀市として引き続き市民への注意喚起や感染対策の周知徹底等に取り組んでいきます。

（1）新型コロナウイルスワクチン集団接種の延期について

7月1日に、記者の皆さんにお伝えしたように、7月17日から開始予定としていた集団接種を、国からのワクチン供給の見通しが立たないため、延期させていただかざるを得なくなりました。

新型コロナウイルスワクチン接種については、5月21日に市内医療機関に従事している医療従事者への接種を完了し、現在、高齢者への接種を行っています。伊賀市では、かかりつけ医による個別接種から開始し、市内医療機関の協力によって順調に接種が進んでおり、6月28日の接種終了時点で高齢者の半数以上の方が1回目の接種を終えました。

7月17日からは、個別接種に加えてモデルナ社製ワクチンを使用して集団接種を開始する予定で業務を進めていたところ、国から各自治体に、当面の間、モデルナ社製ワクチンの供給の見通しが立たない旨の連絡が、突如入り、集団接種の実施を変更せざるを得なくなりました。伊賀市では、国に対し、ワクチンの供給計画を早期に示すよう強く求めているところです。7月2日には、市民の皆さんからコールセンターや担当課へ約60件のお問い合わせをいただきました。国からワク

チン供給量の見通しが示され次第、あらためて集団接種のスケジュールを市ホームページ等でお知らせさせていただきます。

なお、64 歳以下の方への接種券の発送については、予定通り発送させていただきます。

(2) 三重県議会議員定数の再検討に関する意見書の提出について

冒頭でお伝えした令和2年国勢調査の人口速報値が発表されたところ、今年5月に県議会で条例改正されました県議会議員の定数議論の前提となった令和2年9月の「月別人口調査」と比べて、速報値の方が約3千人も多く、議員定数を人口比例配分すれば伊賀市選挙区の「人口割実定数」が「2」から「3」になると考えられます。言うまでもなく「人口割実定数」はさきの定数議論の根本とされた数値であり、伊賀市選挙区の定数削減の大前提が崩れたものとも言えると思われま

す。つきましては、国勢調査速報値を踏まえた県議会議員の定数の早期の再検討を強く求めるため、近く意見書を提出したいと思ひます。

(3) 三重とこわか国体デモンストレーションスポーツ「キンボールスポーツ」の開催中止について

8月1日に開催を予定していました「三重とこわか国体デモンストレーションスポーツ キンボールスポーツ」の開催を中止させていただきます。

5月18日から6月17日までの参加申込期間に、県内からフレンドリーの部1チーム、ジュニアの部11チームの申し込みがありました。新型コロナウイルス感染症について、6月20日に三重県まん延防止等重点措置は終了しましたが、キンボールスポーツは、屋内でボールに集まる競技のため密を避けることが難しく、全国や県内の大会も中止になり、練習することも難しい状況であることから、競技団体である三重県キンボールスポーツ連盟から、中止にしたいとの申し出がありました。

三重とこわか国体伊賀市実行委員会といたしましても、選手および関係者の安全を最優先するため、中止せざるを得ないと判断したところです。大会を楽しみにされていた皆様には、大変残念な報告となってしまいました。

なお、申し込みをされた方には、後日、参加賞等を送付させていただきますのでお待ちください。

(4) 男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2021」の開催について

7月31日に伊賀市文化会館で、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2021」を開催します。

今年で19回目となる今年のテーマは「さあ一歩。誰もが秘めてる 生き抜く強さで!」です。午後1時30分からのオープニング、伊賀市男女共同参画ネットワーク会議の会員紹介と高校生からのビデオメッセージに引き続き、午後2時からの講演会では、宝生流能楽師 松田若子さん、チェリスト 植草ひろみさんをお迎えし、「能の道を生きぬく～私が挑む道～」と題し、お話いただきます。女性が能楽師と

して認められたのは、戦後 1948 年になってからで、女性にとって能とは習い事や鑑賞するだけのものでした。活躍の場が少しずつ増えてきたものの、「女人禁制」の演目があるなど、女性が舞台に立つ上で制約は多いと言われていました。そんな能の世界で女性能楽師としての道に挑んでこられたお話をうかがいます。

また、松田さんは、関連する他分野の文化と「能楽」を通じて交流する新しい取り組みを始められました。後半には、その新しいスタイル、植草さんのチェロの調べとのコラボレーションをご披露いただきます。困難な道に挑みながら、その中でさらに、松田さんならではの感性で新しい道を切り開き続ける。その姿には、私たちが目指す、誰もが生き生きと力を発揮することで、より良い社会となる、男女共同参画社会を実現するためのヒントが満載です。協賛いただいた企業からのお土産も用意していますので、ご来場ください。

主な質疑応答の概要

【三重県議会議員定数の再検討に関する意見書の提出について】

記者：意見書を出されようというのは国勢調査の結果が出て、令和2年9月の「月別人口調査」の前提が崩れたのでということですか。

市長：最初の時も少しじっくりと検討いただいたらどうかということで、私の方からお話をしましたが、議決までしてしまって、後から出てきた速報値は、その前提に立てば、その議決の根拠がないということになってしまいます。これはやはり定数を3に戻していただくということを早くしていただかないといけないと思います。

記者：逆に聞きますけども、結果が出なければ、意見書を出す予定はなかったのですか。

市長：それは前提の根拠がそういうふうになっているということでしたから、倍数においては、1.75で2は切っているというようなことでそれについては、納得できるものではありませんでした。それ以前に今回の数字というのはしっかりと受け止めていただかないといけないと思います。

記者：今回の国勢調査の数字を見て、もっと伊賀市よりも他に減らすべきところが、あるのではないかと見えるところが出てくるのではないかと。

市長：四日市は1減ですよ。他にもいろいろと議会でその数値に基づいて、再検討して修正をしていただかなければいけないと思います。

記者：日付は、いつをお考えですか。

市長：来週ぐらいに直接議長に持って行きたいと思っています。

記者：意見書を出しての成算はありますか。

市長：なかなか意見書を出しても、どうなるか分かりませんが、これはしっかりと証拠のある話ですから、しっかりと調整することは、県議会の信頼性・県民の信頼性を高めることだというふうに思っています。

記者：今日は、午前中に県議会議長の会見がありまして、改めて考えに変わりないかと確認しました。確定値が、出るまでは今のところで様子見ということですか。その確定値が出るのは、11月頃。とすると4ヶ月間ほど空白になると、次期県議選までの時期がどんどん迫ってきます。そういう意味では、今の県議会の判断については、いかがお考えですか。

市長：明らかな数字が出ているのですから、速報値であってもしっかりとそれに対応していくことが、県民の代表として責務を果たすことであり、信頼性を担保していくことだと思っています。速報値だから信頼性がない、そのような速報値を国が出すわけじゃないじゃないですか。それよりも、1日も早く今までの不適切な状況を議決も含めて、見直されることが喫緊の課題だと思っています。それが県議会の役目、県民の負託に応えることです。

記者：令和2年9月の月別人口調査は、どこがやっているものですか。

秘書課：三重県の戦略企画部統計課人口統計班が、取りまとめて行っている調査です。

記者：それは、住民基本台帳か何かですか。

秘書課：毎月の住民基本台帳の登録者数を県へ報告して、それを取りまとめているのが月別人口調査です。

【新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種の延期について】

記者：ワクチン接種について、今日5日から、本来であれば高齢者の受付でしたが、予約電話をかけてきている人はいますか。

ワクチン接種推進課：朝からコールセンターへ確認しましたところ、50件ぐらい問い合わせがありました。集団接種は、延期をさせていただいていますので、市内の個別接種へということでご案内をさせていただいています。また、市役所でも10件ほどお電話をいただいています、同じような対応をさせていただいています。一部若い方もいらっしゃるかもしれませんが、集団接種についてどうしたらいいのだろうということで、コールセンターへ約50件、本庁へ10件ぐらいお問い合わせをいただき、市内の個別接種は、予定通り行いますというご案内をさせていただいています。

【三重とこわか国体デモンストレーションスポーツ「キンボールスポーツ」の開催中止について】

記者：キンボールスポーツとは、どのようなスポーツですか。

国体推進課：キンボールは、4人3チームで行う競技で、直径1m以上の大きなボールを4人で支えて、それで3チームあるうちの1チームの色を「オムニキン、○○」とコールして、ボールをコートへ出し、コールされたチームがボールを受ける。それを受けないと敵チームに1点入る競技です。屋内で行うため、4人でボールを支える、同じボールを複数のチームが使用するため、密も避けられないということです。登録は8人で、実際試合を行うのは4人です。

記者：国体に関連して、市長から今やるべきではないというふうな発言があったと思いますが、改めて真意をお願いします。

市長：今、東京では、リバウンドの波が押し寄せてきているところであります。あれほど、有観客開催と言っていた人たちも、種目によっては無観客というようなことまで言い始めている中で、医療・疫学関係の先生の見通しは、これから緩やかな場合、中程度の場合、あるいは大きな数字の予想と3種類ぐらい出されています。いずれにしても、7月中旬以降、8月、9月は、1,000人単位の罹患者が予想をされるということです。また、社会的な動静についても、オリンピックは開催をし、噂される県内での選挙があったり、あるいは帰省シーズン、

夏休みになれば人流が増える。そして9月に入ったら、また国体、衆議院解散という時に、本当に私は、できるかできないかの話ではなくて国民、県民、市民の命を守るには、今、何をすべきかというのは、歴然としているわけでありますので、やっぱり心から声援を送りたい国体については、収まってしかるべき時が来たら、心からみんなで楽しんで、選手に素晴らしい技を見せてもらって、激励もしたいなと思います。つまりは、今すべきことは何なのかという、その優先順位で言えば尾身先生が、「今、普通ならやる時期ではない」とおっしゃったこと言葉の重みは、やはり9月になってもさらに重みを増しているということではないかと思っています。それが先を見据えた行政を預かるものの責務だろうというふうに思っています。そういう意味では、先ほど県議会で定数の話もしましたが、県議会もしっかりと私たち県民の命を守るべく論議をしていただきたいと思います。

記者：「今、やるべきではない」という思いは強まっているとお考えですか。

市長：ますます。ワクチンもなかなか思うようには入荷されない、接種も進まない中でそうしたことだけが、進んで行くということは、いかがなものかというふうに思います。

2. 7月の主な行事予定

(1) 人権啓発パネル展の開催

日時 会場により異なります

場所 本庁・市民館等

内容 「LGBT」、「同和問題」、「障がい者の人権」、「一人ひとりが生きやすい社会のために」

担当 人権生活環境部 人権政策課（電話 0595-26-9683）

(2) 伊賀市本庁舎アート情報（7月展示）の開催

日時 7月1日（木）～7月30日（金）※華道は7/5から7/30まで
午前8時30分～午後5時15分（市役所の開庁時間に準ずる）

場所 伊賀市本庁舎（4階）市民ミニギャラリー
（1階）玄関横

内容 （4階）全日本写真連盟上野支部 写真展（11点）

（1階）絵画：「コロシウム」（荒木 寛さん）

陶芸：「飛翔」（昼馬 和代さん）

華道：伊賀華道協会

担当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(3) 子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

日時 7月11日（日）・8月8日（日）午前10時～午前11時30分

場所 上野南公園「にんにんパーク」内（伊賀市ゆめが丘七丁目13番地）

内容 7月11日（日）水鉄砲で遊ぼうの巻

8月8日（日）ペットボトルでジョウロを作って遊ぼうの術

担当 健康福祉部 こども未来課（電話 0595-22-9665）

(4)「2021 年度 郷土の歴史^{よばなし}夜咄会」其の 29 の開催

日 時 7月 16日 (金) 午後 6 時～午後 7 時 30 分

場 所 ハイピア伊賀 5 階 多目的大研修室

内 容 「伊賀蕉門^{いがしやうもん}の長老 山岸半残^{やまぎしはんざん}」

講 師 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 楯夫 氏

担 当 伊賀市上野図書館 (電話 0595-21-6868)

3. その他

主な質疑応答の概要

【川崎二郎衆議院議員の引退報道について】

記 者：一部報道で地元を地盤にされている国会議員の川崎二郎さんが引退をするというようなことが報じられていますが、市長からコメントをお願いします。

市 長：長い間ご苦勞様でしたということでしょうか。またしっかりとした方が後に続けられることを祈ります。

記 者：市長から見てどのような政治家でしたか。

市 長：川崎 3 代と言われており、私の尊敬する川崎克氏から数えて 3 代目ということですが、地域に根を下ろした政治家の一家だろうと思います。

【鈴木英敬三重県知事の国政への出馬について】

記 者：鈴木知事の国政への出馬が決まっているようなことが、一部で報道されていることについてコメントをお願いします。

市 長：昔から国政への想いを持った方でした。若い方が夢を持つということは、立派なことだと思うので、そういう意味では私は、彼を応援したいと思います。

記 者：知事が国政進出となると知事選挙も行う。県の政界を巡る一連の動きをどう思いますか。

市 長：どなたが下馬評に挙がっているのかは、本当によく知りません。知りませんが、前々から言われている方もいれば、何人かいろんな名前が挙がってきているようですが、私はそれについて判断の基準を持ちません。ただ、しっかりとその時には県民・市民のことを考えてくださる方がいいなと思います。

(会見終了)